



学会 企業と社会フォーラム

JFBSは、企業と社会の関係にかかわる諸問題について、学界、産業界、政府・行政、労働界、消費者団体、NPO/NGO等との幅広い連携のもと、国内外の関係組織とも協力しながら、学際的研究・議論および人材育成を行う学会です。



研究テーマ

- 企業と社会の関係、持続可能な発展、公共政策
- CSR経営、コーポレート・ガバナンス、経営倫理
- 環境経営、環境会計、環境保全、消費者、社会貢献、安全・衛生、労働・人権
- ステイクホルダー・エンゲージメント、情報開示/報告書、CSR教育
- 企業価値、レピュテーション、責任ある投資
- NPO/NGO、セクター間の協働/連携、国際支援
- マルチ・ステイクホルダー・プロセス、グローバル・ガバナンス、国際基準
- ソーシャルビジネス、社会的企業(家)、ソーシャル・イノベーション
- 国際比較 等



活動内容

- 年次大会：統一論題、自由論題
- 研究会、部会、ワークショップ、講演会
- 学会誌発行：最新論考や国内外の諸動向等掲載
- 国内外の関連機関との連携：会議共催・参加等
- ウェブによる情報発信
- 研究助成プログラム



連携組織

- 海外組織
 - ABIS(The Academy of Business in Society)
 - BSR(Business for Social Responsibility)
 - CASM(Center for Advanced Sustainable Management), Cologne Business School
 - CSR Asia ほか
- 国内組織
 - CBCC (公益社団法人企業市民協議会)
 - 一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
 - NPO法人経済人コーポラ卓会議日本委員会
 - NPO法人日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク ほか

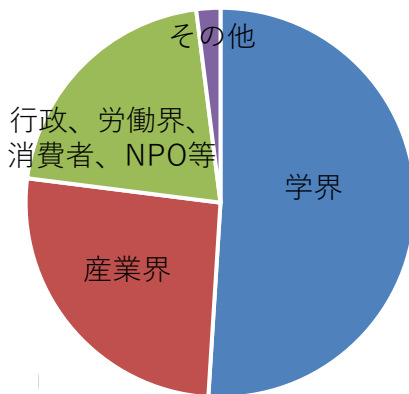
目的

持続可能な社会経済システムの発展が求められる現在、企業の経済的・社会的・環境的な役割・責任がトータルに問われる時代になっています。企業と社会の関係性を問う動きは、先進国から新興国・途上国まで急速な展開を示しており、国際社会との相互依存関係を深化させつつある日本の企業社会にとっても、重要なテーマとなっています。

JFBSは企業と社会の関係をめぐる諸問題について、国内外の学界、産業界、行政、労働界、消費者団体、NPO/NGO等との幅広い連携を形成し、グローバルな動向を注視しながら、理論と現場と政策をつなぐ場をつくり、学際的に議論・研究することを目的としています。併せて、若手研究者や実務担当者の人材育成にも注力します。

- ・持続可能な企業社会について研究する。
- ・グローバル社会における日本という視点をもつ。
- ・セクター間の連携を深める。
- ・研究者と実務家が議論し交流する場（オープンなプラットフォーム）をつくる。
- ・責任あるリーダーを育成する。
- ・社会変革への触媒となる。

個人会員（約200人）



法人会員（7社）2021年9月現在

- ・株式会社アルピオン
- ・EY新日本有限責任監査法人
- ・JSR株式会社
- ・損害保険ジャパン株式会社
- ・大成建設株式会社
- ・ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社
- ・YKK AP株式会社

理事（敬称略）

- 会長 岡田 正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）
- 副会長 福川 恭子（一橋大学大学院経営管理研究科）
- 黒田かをり（一般財団法人CSOネットワーク／内閣府公益認定等委員会）
- 関 正雄（損害保険ジャパン株式会社） ほか理事12名

入会申し込みは <https://j-fbs.jp/inquiry.html> よりお手続き下さい